

平成30年度 日南市立南郷中学校 学校関係者評価書

4段階評価 [4 期待どおり 3 ほぼ期待どおり 2 期待を下回る 1 改善を要する] 平成31年2月

重点目標	評価指標	学校の自己評価コメント	品位	雑	学校関係者評価コメント（含：学校評価推進委員のコメント）
1 学力の向上（知） 自分の夢の実現に向け、自ら進んで学習する生徒の育成をめざす。	◎ 学ぶ意味・意義を理解するキャリア教育の推進 ○ 授業の指導法の工夫・改善 ○ 学習規律・学習訓練の徹底 ○ 家庭学習の充実 ○ 学力を補充する指導内容の充実（読書や各種検定へのチャレンジ） ○ 特別支援教育の充実	① 重点支援校訪問における研究授業や指導主事・管理職とのフィードバックを通して、教師一人一人が授業法の工夫・改善に努めた。「分かる・できる」までのチェック項目（4＋4）を常に意識した授業実践を行うことで、生徒が意欲・関心をもって授業に取り組むようになり、自ら学ぶ力を育成することができた。 ② 全国学力・学習状況調査及びみやざき学習状況調査では、県平均を下回る結果であったが、経年変化を見ると前年度より向上した。基礎基本定着時間の確保、書く活動を取り入れた授業展開を通して、今後の学力向上を目指したい。 ③ 日南市のビブリオバトルで個人優勝するなど、読書に興味をもつ生徒が増えた。英語検定には61名が受験し、英語学習への関心が高まってきた。これからのグローバル教育を考慮しながら、次年度は英語検定受験者100名を目指したい。	3	3	○ 重点支援校訪問における授業改善や主題研究での「書くこと」を意識した教育活動の実践を通して、生徒一人一人の授業や行事への意欲関心が高まり、「自ら学ぶ力」を育成できている。今後は、学力定着の見届けや家庭学習の充実を図る取組を行ってほしい。 ○ 小学校の校長が中学校の授業を参観するなど小学校との連携は図られているが、今後は家庭教育学級などを通して、家庭でのゲームやメディアに対するあり方など、家庭との連携を強化してほしい。 ○ 読書活動推進は日南市にとっても重点項目である。今後も積極的な啓発と推進を図り、読書に対する意欲関心を高めてほしい。また、英語教育を柱としたグローバル教育の充実を図り、生徒一人一人が世界に関心を抱き、世界で活躍できる人材を育成してほしい。
2 生徒指導の充実（徳 体） 気づき・考え・行動する生徒の育成をめざす。	◎ 生き方を考えるキャリア教育の推進 ○ 基本的生活習慣の育成 ○ 道徳教育の充実 ○ 教育相談の充実 ○ 健康教育の推進 ○ 安心・安全な環境づくりの推進 ○ 体験的な活動の推進	① 生徒指導主事が毎週報告する「チーム南郷」で情報を共有しながら「凡事徹底」に努めたことで、生徒一人一人が生き活きと落ち着いた学校生活を送ることができた。 ② 生徒同士で認め合い、助け合い、支えながら自己指導能力を身につけるピアサポートの取組を行ったことで、思いやりと優しさのある行動をする生徒が増え、他者から学ぶ力を育成することができた。 ③ 保健体育の授業を軸として、体育大会などの行事や部活動で体力向上に努めたことで、現2年生において肥満度が17%→12%に改善された。フッ化物洗口の実施や学校歯科医によるブラッシング指導により虫歯予防の意識が高まったことで、虫歯無し・治療済み・治療中の生徒が58%となり、健康・安全教育の推進が図られた。	3	3	○ 生徒指導主事を中心とした全職員での生徒指導体制が確立されており、学校全体が落ち着いた雰囲気である。また、地域ボランティアの方々の御協力で、交通事故等も無く安心安全な生活が送れた。礼儀正しく挨拶も自ら進んで行う生徒が多く、規範意識が高い生徒が多い。 ○ ピアサポートの取組が生徒同士の絆を深めるとともに、相手を信頼し認め合うことに繋がり、周りの級友などから多くの事を学ぶ力を育むことができている。これからも生徒会活動を中心に心を育てる教育を推進してほしい。 ○ 生徒の健康増進が推進されており、肥満度が向上改善されたことは良いことである。今後も、保健体育の授業や部活動などを通して、生徒の健康管理に努力してほしい。また、虫歯ゼロを目指し、虫歯予防への指導も積極的に行ってほしい。
3 家庭・地域との連携 家庭や地域と連携し、地域に誇れる開かれた学校をめざす。	◎ 横の連携を図るキャリア教育 ○ 家庭や地域への情報発信 ○ 授業や学校行事の公開 ○ PTA や地域行事への積極的参加 ○ 地域の人材・教育力を授業や行事等での活用 ○ 学校職員による講座実施	① 学校だよりや学級通信を定期的に発行することで、保護者や地域の教育への関心を高め、地域からの信頼を得ることができた。今後も情報発信に努め、社会に開かれた学校づくりを積極的に推進していきたい。 ② 地域清掃ボランティア活動に部活動を中心として約70名の生徒が参加し、地域の行事に積極的に参加する生徒を育成することができた。 ③ 地域に根ざした魅力ある教育課程の工夫（体育大会、文化発表会の日曜開催）、地域人材・教育力の活用（地域の方の話を聞く会、シーカヤック体験、職場体験学習、13歳のハローワーク）に取り組むことで、社会から・自然から学ぶ力を育成することができた。	4	4	○ 毎月発行される学校だよりにより、保護者に学校への関心をもたせることができている。今後も情報発信に積極的に行い、地域や保護者から信頼される学校づくりに励んでほしい。 ○ カツオ漁業に関する授業を地域ボランティアの方々などと連携して取り組んだり、シーカヤック体験を1年生の総合的な学習の時間で行うことは素晴らしい事である。これらにより、生徒が社会から学ぶ力や自然から学ぶ力が育成されている。 ○ 次年度は海洋教育パイオニアスクールプログラムより補助金をいただき、漁業などに関わる学習や行事に取り組むことができるので、南郷の自然豊かな財産を有効活用し、日南市役所などとも連携して充実させてほしい。

【総 評】

- 1 本年度の取組について
○ 体育大会や文化発表会などの学教行事に取り組む姿勢が素晴らしく感動的でした。また、学習に対する意欲も高まっているので、今後の学力向上が期待できる。
- 2 次年度へ向けて
○ 地域・保護者・学校が一体となって学力向上を目指すとともに、南郷の自然を生かした学校行事などを通して地域に開かれた学校づくりに励んでほしい。